

# 国土交通省自動車局 各担当官と交渉!

## 交運労協の関事務局長も参加。

去る6月21日、午前11時から国土交通省会議室において、交運労協関事務局長の仲介で、貨物運送事業における労供連組合員の就労についての再確認を目的に交渉が持たれた。労供労連から、根本会長代行・宮田副会長・森嶋事務局長・大田事務局長次長・比与森執行委員が出席し、篠崎会長名の要請書と1994年当時の資料に基づいて交渉を行った。国土交通省からは自動車局の安全政策課と貨物課から7名出席し、主に

谷川安全室長と御代田事故防止推進官が回答した。われわれの主な主張は「昨年長距離観光バスの大事故が発生し、日雇い運転手という大見出しがマスコミを賑わせ、一種の反日雇い運転手キャンペーンの様相となった。一部事業所から日雇い関係について問い合わせがあり、改めてわれわれの組合員の『供給契約に基づく日々就労』は安全運輸規則に抵触するものではない旨の見解を明確にしてもらいたい」というもの。

その他、供給契約の職安



# 各地本だより

## 埼玉地本

埼玉地本に於いては、第41回定期大会を去る6月9日さいたま市にある『ときわ会館』で開催いたしました。先に終わった参院選の取り組みとして、是非とも埼玉県選挙区で民主党の議席確保を目指そうということで、大会でも組合員へお願いし取り組んで参りましたが、今

回自民党大勝の結果を受け、けるかのように埼玉県選挙区でも民主党は議席を守りませんでした。連合埼玉のもと各組とも必死に取り組んできただけに残念でなりません。衆参のねじれが解消され自民党の暴走も危惧される中、やはりアベノミクス第3の矢である成長戦略の柱である規制緩和が一段と加速される事が予想され、再びわたしたち労働者にそのしわ寄せが押し寄せてくるのではないかと、今後も注視していく必要があるだろうと感じております。そして、前大会の運動方針の強化という形で組織拡大強化を中心とした新しい運動方針も全会一致

で承認され盛会裡に終了した事をご報告させていただきました。執行部を中心に組合員とともに埼玉地本発展のため頑張っていく所存でありますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどお願い致します。

最後に労供概況ですが、盆前の駆け込み需要もあって供給しきれない日も出るなど好調な状況を持っています。そのような中、新規事業所も出てきた事から大型免許を持つている運転手が不足してきているという事があらためて浮き彫りになっているように感じられます。若年層を主体とする新規組合員の確保ができるかどうかは埼玉地本の今後を左右していく事に繋がっていく事と捉え、引き続き最重要課題として取り組んでいきたいと考えております。

委員長 折井洋之



# 滋賀地本

今夏は例年に比べて梅雨明けも早く、猛暑と熱帯夜が連日続いて疲労が蓄積した様な状況です。また、夕立くらいの雨は気温も下げてくれる大歓迎の雨ですが、このところ多発している災害をもたらすようなゲリラ豪雨はカンベン願いたいものです。さて、滋賀地本は9月末に予定している第17回定期大会に向けて、役員体制や財政関係の見直しと運動方針などの検討を、先の執行委員会から精力的に議論しているところです。

また、新規組合員の拡大については、とくに若者の車離れや免許制度の改正などが影響しているのか、大

# 関西地本

梅雨が明け、連日の猛暑日続きである。気象予報では今夏も猛暑の予想が出ており、熱中症対策も含め健康管理には十分に留意し暑い夏を頑張つて乗り切りましょう。

先の参院選は与党の圧勝で幕を閉じた。有権者は安倍政権の経済政策「アベノミクス」に一定の評価を示し、政治の安定を求める一方、強力な政権が内外の危機を克服することに期待を託した結果と言えよう。6年前の参院選で現職の首相として臨み、屈辱的な大敗を喫し、衆参両院の「ねじれ」状態を招いたが、今選挙において皮肉にも「民主党」に対する不信が有権者取り分け浮動票の多くが

型免許保持者の減少が顕著になってきています。と言うのも、Aト車しか自家用車を合めて経験が無く、ミッドレンジ車に乗る機会が無いなど困った状況も生じて来そうな感じがあります。さらには、生コン事業所が新規組合員の教育に難色を示すところが増えつつあり、運転と共に操作の教習体制を如何するかも考えていかなければいけない状況となりつつある現状です。しかも、生コン、トラック、馬運車も含めて不供給が増加傾向にあり、日々の人員不足に当面は頭を悩ませながらの労供が続くと思っております。

酷暑の夏「暑中お見舞い申し上げます」

書記長 田中浩

自民党を投票先に選んだのは残念である。安倍首相は民意を重く受け止め、国民の為に経済再生と景気回復、デフレ脱却に向け、決める政治で強い日本を牽引しなければなるまい。

さて、関西の労供概況ですが、新規開拓事業所での就労人数は順調に増えるなど好転に推移していたが、大阪市内部の大型再開発事業である、大阪駅周辺や阿倍野地区の工事が終了し、出荷量が前年比の六割に落ち込む現状で、就労機会を克服することに期待を託した結果と言えよう。6年前の参院選で現職の首相として臨み、屈辱的な大敗を喫し、衆参両院の「ねじれ」状態を招いたが、今選挙において皮肉にも「民主党」に対する不信が有権者取り分け浮動票の多くが

# 東京地本

先月発行した機関紙の一面で参議院選挙の重点候補として一定の運動を展開した

それにしても、3年前の民主党政権樹立からの凋落振りを前に、政治の世界は一寸先は闇といわれてきた恐ろしさ、怖さを民主党を壊した張本人たちは感じているのだろうか。梅雨明けの酷暑の中、頑張つてくれた組合員の皆さんには本当にご苦勞様と頭を下げたいと同時に敗北挨拶に来た候補者には心からお疲れ様再起を期して共にがんばろうと励ましてきた。

個人的には、沖縄における反基地運動や労供拠点作りで関係してきた米教慶子さんが沖縄選挙区で当選したことや東京選挙区で山本太郎氏が当選したことで一矢を報いたと希望をつなぐことは出来た。しかし、向こう3年間、日本の政治情勢が悪くなるのが目に見えるわけで、それだけにわれわれの労供事業を非正規労働問題における本連に押し上げる闘いに全力をこめなければ決意している。

書記長 太田武一

さて、関西の労供概況ですが、新規開拓事業所での就労人数は順調に増えるなど好転に推移していたが、大阪市内部の大型再開発事業である、大阪駅周辺や阿倍野地区の工事が終了し、出荷量が前年比の六割に落ち込む現状で、就労機会を克服することに期待を託した結果と言えよう。6年前の参院選で現職の首相として臨み、屈辱的な大敗を喫し、衆参両院の「ねじれ」状態を招いたが、今選挙において皮肉にも「民主党」に対する不信が有権者取り分け浮動票の多くが

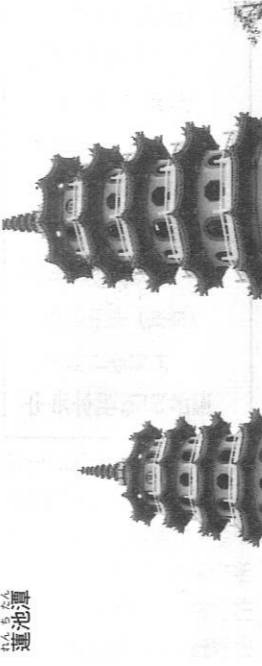
書記長 井口隆志

それにしても、3年前の民主党政権樹立からの凋落振りを前に、政治の世界は一寸先は闇といわれてきた恐ろしさ、怖さを民主党を壊した張本人たちは感じているのだろうか。梅雨明けの酷暑の中、頑張つてくれた組合員の皆さんには本当にご苦勞様と頭を下げたいと同時に敗北挨拶に来た候補者には心からお疲れ様再起を期して共にがんばろうと励ましてきた。

個人的には、沖縄における反基地運動や労供拠点作りで関係してきた米教慶子さんが沖縄選挙区で当選したことや東京選挙区で山本太郎氏が当選したことで一矢を報いたと希望をつなぐことは出来た。しかし、向こう3年間、日本の政治情勢が悪くなるのが目に見えるわけで、それだけにわれわれの労供事業を非正規労働問題における本連に押し上げる闘いに全力をこめなければ決意している。

書記長 太田武一

さて、関西の労供概況ですが、新規開拓事業所での就労人数は順調に増えるなど好転に推移していたが、大阪市内部の大型再開発事業である、大阪駅周辺や阿倍野地区の工事が終了し、出荷量が前年比の六割に落ち込む現状で、就労機会を克服することに期待を託した結果と言えよう。6年前の参院選で現職の首相として臨み、屈辱的な大敗を喫し、衆参両院の「ねじれ」状態を招いたが、今選挙において皮肉にも「民主党」に対する不信が有権者取り分け浮動票の多くが



蓮池遺蹟

# 陽居の海外旅行

〜どこか懐かしい国・台湾〜 (その三)

河合 明博 (元新選副委員長)

## 〈夜市よと〉

一度は寄つて▽

各地に「夜市」と言つて夜店や屋台が集まっている一角がある。飲食店から衣料品、土産物などいろんな業種に亘る。中で、台北の「士林夜市」と高雄の六合一路の「一夜市」が観光的には有名だ。「士林夜市」は規模も大きく、最近整備された。午後5時から10時まで観光客でこつた返す。

## 〈故宮博物院〉

台湾の旅行記を書くに当たつて、これを外すわけにはいかない。北京の故宮(紫禁城)にあつた歴代の皇帝が収集した宝物を、内戦で滅失・散逸を恐れた蒋介石が持ち出し、最終的に台北におさまつた。北京より価値のあるものが多く、その

## 〈雨の九份〉

かつてゴールドラッシュに沸いた町。今回唯一雨に濡れた。台北からバスで時間半ほどしか離れていないのに地形の関係で雨が特異的に多いのだそう。その上、急な坂道で人を掻き分け車も通る。両側に土産物屋がビッシリ並び、最近、宮崎駿のロケ地として日本人に人気があるとか。

その他、観光名所としては世界有数の高さを誇る台北のシンボルタワー「101」や、ラジウム泉で名高い北投温泉があるが、今回立ち寄りなかつた。

## 〈グルメも豊富〉

小籠包は、どこでも食べ

られるが、「鼎泰豊」が最も有名で、いつも行列ができています。世界中に店を出しており、日本にも十三店あるので、すでに賞味された方もおられよう。フカヒレ、アワビ、燕の巣等高級品を探さなくても、美味しい中国各地の料理が手軽に食べられる。飲茶もいい。紹興酒は、やはり本場には及ばないが、今回因らずも出会つたのが、アルコール度数五十八度の高粱酒。ウオッカ並みだが、わざわざ酒屋を探さなくてもコンビニで買える大衆酒。次に台湾に行つたらこの酒だけを飲もう。

台湾バナナ、マンゴー、パイナップル、スターフルーツなど南国の新鮮な果物がふんだんに食べられるのは言うまでもないが、今回初めて出会つたのが「釈迦頭」と言う果物。お釈迦様の頭(肉髻)にそっくりなことからこの名がある。甘く上品な味だが、水分が多く、持ち運びに適さないとかで、現地食べるしかない。

## 〈気の置けない隣国〉

東京から3時間ほど、時差も1時間しかないのので、気軽に楽しめる海外旅行としてお勧めの部類に入る。旧字体を知っている世代は、看板を見れば大概察しがつく。いざとなつたら筆で十分意思が通じるし、考え込んでいると、日本語で話し掛けられるかもしれない。今回、非常に楽しい旅ができた。謝々。(定)

(二〇一三年二月十八日、二月二十三日、日本旅行誌)